

住民自治協議会だより

【目次】 P1；事業報告（安全・防災部会） P2；事業報告（健康・福祉、教育・文化部会）
P3；事業報告（教育・文化部会、秋祭り情報） P4；事業報告（教育・文化部会）・各区紹介（西町上）



平成 24 年 9 月 1 日発行 発行者 第一地区住民自治協議会 会長 竹本次雄

◆ 地域の活動に参加して交流を深めよう！ ◆

住民自治協議会（住自協）がスタートして3年目になります。

私たちは、昨年の東日本大震災や地区の防災避難訓練で、日頃の隣近所、地域の交流を通じた心の絆（きずな）の大切さを学びました。こうした中で、都市内分権が目指す自分たちの地域は自分たちで作ろうという住民の意識が高まり、いろいろな事業への参加者も増え、活動の幅が広がってきました。

第一地区は、長野市でも少子高齢化の現象が顕著で、取り組まなければならない課題も多様化しています。今こそ世代を超えて、みんなで知恵を出し合って、地域ぐるみで、生き生きした地域づくりを目指しましょう。9月以降も、多彩なイベントが予定されています。積極的にご参加ください。

副会長・会計に宮澤秀樹さんを選出

4月総会の直前に亡くなられた高森平二さん（往生地）の後任に、総会の一任を受けて、7月9日（月）に開催した常任評議会で宮澤秀樹さん（立町区長）を選出しました。

安全・防災部会

◇自主防災会・防災指導員研修

6月3日（日）、城山公民館第二分館において、中央消防署より震災時の初動体制や日常の防災防火管理等について説明を受け、意見交換、また長野市郷土史研究家高原英男氏の「M7.4の激震が襲う・善光寺地震から今を考える」と題した講話と善光寺境内の地震塚を見学しました。



◇心肺蘇生講習会の開催（狐池区）

6月17日（日）狐池集会所にて、町内に居住する消防隊員（桑原氏）を講師に、今年から発足した若手の「支援隊」を中心に受講しました。訓練用の人形を使い、心臓マッサージの方法、AEDの操作を全員が何回も実施訓練し、救急法の対処についてある程度自信をもてる講習会になりました。

◇交通安全啓発活動に参加

「夏の交通安全やまびこ運動」にあわせ交通安全協会に協力、住自協から7月19日（木）西尾張部交差点（5名参加）、7月20日（金）若松町交差点（9名参加）で通勤時の車を対象にパンフレットやティッシュペーパーを手渡ししながら、高齢者の交通安全事故防止、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、自転車の安全利用の推進、飲酒運転の根絶を呼びかけ街頭啓発活動を行いました。



◇第3回住民福祉大会を開催

7月26日(木)長野市保健所健康課の久米萬里子歯科衛生士と高池智美職員を招き、第一地区公民館(61名参加)で「嚥下体操と歯の磨き方」と題して開催しました。高齢者が誤嚥すると肺炎にかかりやすく重症化し死に至る確率が高い(20~40%)。誤嚥を予防するには、①口の中(特に義歯)を清潔にする ②食べる時に「むせ」ないようにする ③食べた直後に横にならない ④飲食時に使う筋肉を鍛える ことが大切であると話されました。その後、「むせ」を予防する健口体操を先生指導のもと全員で行い、歯の磨き方の指導を受けました。また、講演会の前後に血管年齢・血圧・体脂肪の測定も行い、充実した大会となりました。



◇トコトコウォーキングを実施

7月10日(火)、本年度第1回目のウォーキングを行いました。13名が参加し第一地区公民館~かるかや山往生寺の往復4.1kmを1時間かけて歩きました。途中の坂道(湯福神社~往生寺)では、全員汗だくとなり足取りも重くなりましたが、無事往生寺に到着。涼風を受けながら善光寺平の絶景を一望しました。3月まで毎月第二火曜日に行いますので多くの方の参加をお願いします。



◇第1回健康体操を実施

7月24日(火)健康運動指導士の徳武有紀先生を招き、第一地区公民館(27名参加)で実施しました。①体をほぐすためのグー・チョキ・パーによる脳トレーニングの実施 ②足のもみほぐしによる血行の改善(足が軽くなり伸びる) ③ササラ体操(仰向けに寝て手足を動かす)による手足骨盤の運動 ④座ったまま肩・背骨・骨盤を一直線にし下腹を引っ込めて姿勢を正す運動を行い、心も体もスッキリし、姿勢がよくなり体が軽くなったと喜んでいました。なお、第2回は10月11日(木)、第3回は2月21日(木)に開催予定ですので多くの方の参加をお待ちしています。



◇合同人権研修会を開催

人権同和教育・啓発研修会が6月15日(金)第一地区公民館で、長野市人権擁護委員の宮下英子さんを招き「身近な人権問題について」と題して開催しました。

宮下さんは、一番身近な家庭における夫婦、親子の間にもある人権を損ないがちな具体例を挙げつつ講演を始めました。いくつかの実例から、相手を思いやり自分の思いを伝えるには、上からの目線で接するのではなく、人間としての尊厳を重んじ、人を見下したり軽蔑する言動は慎み、人を思いやる心をもってくださいと訴え講演をむすばれました。



◇「ドッジボール大会」を開催(6月24日(日)西部中学校体育館)

新築された西部中学校体育館でドッジボール大会を開催しました。子どもと大人約110人が集まり、小学生の低学年と高学年に分かれてリーグ戦方式で試合を行いました。盛夏のような暑い中でしたが、私たち大人は、子どもたちが大粒の汗を床に落としながらエネルギーにボールを追いかけている姿、高学年の力強さ・迫力、超ファインプレーなどの歓声や拍手をしながら、成長している姿に感動していました。子どもが少ない町、その町から一人、二人と参加し、その子が大きな町の仲間と笑顔で語り合ったり激しく走り回ったりしている微笑ましい姿が見られました。



◇「家庭と地域の子育て講座」を開催（6月2日（土）第一地区公民館 参加者 40名）

講師の柳町中学校長杉山由一先生は、20代～30代の9年間柳町中学校で音楽を指導した経験がありました。当時の教え子や保護者も多数参加し、「修学旅行永平寺での大地讃頌」「音楽室棟取り壊しでの感謝の歌」や「一人ひとりの能力・個性に応じた指導」等の事例から、人間としての感性の育成の必要性を訴えました。そして、感性を育てるための重要なポイントと論じ、その中で「自分だけで決定するのではなく、自分と関わっている自然・事物・現象・行為等を深く感受する学習」の重要性を強調していました。その後、参加者からの多様な質問にも丁寧に答えていただきました。



◇「地域と学校の連携事業」を開催（7月6日（金）第一地区公民館 参加者 33名）



城山・後町・加茂小学校や柳町・西部中学校の校長・教頭先生、各町の育成会長、区長、民生児童委員などが第一地区公民館に集まり、各学校から学校生活の現状・課題や地域連携等について説明されました。その中で、学校教育目標の具現、校舎や体育館の改築、子どもの数と学校規模、学力向上と新指導要領改訂、体力と学力、不登校生徒指導・支援、教職員の研修と時間数など様々な課題について話題になりました。それらの課題について、学校では献身的に指導・支援されており、今後も家庭・地域の宝として宜しく願うという意見が多数出されました。



各町の秋祭り情報



関係町	神社	祭典時間等		備考
長門町・西町上・西町南	天神社	宵宮祭:8/24 17:00	例祭:8/25 9:00	—
栄町	三峰神社	—	例祭:8/29 19:00	子どもみこし・神楽・歩行者天国
西之門町	三峰神社	宵宮祭:9/1 14:00	例祭:9/2 9:00	みこし
立町	天神社 皇大神	—	例祭:9/1 15:00 (9月第一土曜日)	神楽
桜枝町	天神社	宵宮祭:9/14 20:00	例祭:9/15 11:00	みこし・神楽・さくら姫
横沢町	八幡社	宵宮祭:9/14 15:00	例祭:9/15 9:00	みこし・神楽
西長野町	加茂神社	宵宮祭:9/16 20:00	例祭:9/17 9:30	みこし・神楽・花火・舞踊 ※花火・舞踊が有名
西町上	高市神社	宵宮祭:9/19 17:00	例祭:9/20 10:00	—
狐池	稻荷神社 諏訪神社	宵宮祭:9/22 10:00	例祭:9/23 9:00	子どもみこし
新諏訪	諏訪神社	宵宮祭:9/23 21:00	例祭:9/24 13:00	子どもみこし・神楽・花火 ※花火が有名
茂菅	飯縄神社	宵宮祭:9/28 21:00	例祭:9/29 10:30	神楽・花火 ※花火が有名
西町上・西町南・栄町 若松町・旭町・長門町	妻科神社	宵宮祭:10/1 18:00	例祭:10/2 14:00	みこし・神楽・花火
桜枝町・横沢町 上西之門町・他5町	湯福神社	宵宮祭:10/9 18:00	例祭:10/10 10:00	みこし・神楽・歌謡 ※歌謡が有名

◇三世代ふれあい史跡めぐりハイキング（8月5日（日）参加者 120名）

ひまわり公園から往生地公園までの「旧長野刑務所跡」「信州大学教育学部」「旧長野裁判所跡」など 15ヶ所の地区内の史跡を巡るハイキングを行いました。35℃の酷暑の中、120人が参加しました。

幼児も頑張って歩き、疲れたら親が背負いながらも目的地にたどり着きました。「地元なのに知らなかった史跡」「以前の第一地区は県や市の行政・教育・産業・商業の中心だったんだ」と参加して良かったという言葉が多く聞かれました。その後、往生地公園ではバーベキューで楽しみ、有意義な夏休みの一日を過ごしました。



（松本裁判所長野支庁跡）



（子持橋周辺）



（往生地公園）



連載企画

西町上



事務局職員が行く 各区レポート!



人口：65人 世帯数：38世帯（H24.8.1）

<「西町上」を紹介します（竹本区長）>

かつては、古着屋や呉服屋が20店ほど軒を連ね、市の商店街の中心的存在として賑わい、町は栄えましたが、戦後は流通の変化で廃業が相次ぎ、往時の面影もなく静かな住宅街に一変、利便性が良く優れた生活環境にあります。町の宝は、山車（だし）です。寛政5年（1793年）に12年をかけて完成されたもので、総漆塗りで、

14金の金具が使われ、彫刻材はケヤキ・ヒノキで、刻物の上部を金箔・金粉、漆絵の具で飾られ、当時の職人の技の高さが伺われます。

山車の踊り舞台には歌人、柿本人麻呂の座像が安置されています。戦後は、資金、人手不足で夏祭りの2回と昭和45年の忠霊殿完成の祝賀を最後に、現在は長野市の有形民俗文化財の指定（昭和42年）を受け、長野市立博物館に委託、展示し管理されています。



◆第一地区住民自治協議会事務局：宮崎、岡村（第一から第五地区合同事務所内）◆
〒380-0835 長野市大字南長野新田町 1485-1 もんぜんぷら座 8階
電話：262-1217（FAX兼）E-mail：dai1@clock.ocn.ne.jp
編集委員：柄沢申一、古畑幸雄、松山嘉道、宮澤秀樹、市民活動支援課：倉島